

各自主防災会も 総合防災訓練に参加



たくさん子ども達も参加しました
地域と学校の合同避難訓練（那珂湊第二小学校）



炊き出し訓練
市毛北自主防災会



発電機の訓練
地域と学校の合同避難訓練
（那珂湊第二小学校）



消火訓練のなか、避難をしました
地域と学校の合同避難訓練（那珂湊第二小学校）



自衛隊も参加されました
自衛隊と市による給水訓練
（勝田第二中学校）

ひたちなか市における東日本大震災の記録

- ・震度：6弱
- ・断水：約2週間（市内全域）
- ・津波：4m
- ・停電：3日（市内全域）
- ・死者：2名
- ・避難者：最大9,539名

震災の恐怖を忘れずに、次の世代に伝承していくことも、防災の1つです。

8月30日（土）、ひたちなか市全域で総合防災訓練が実施されました。

震度6弱を観測し、大津波警報が発令された想定で、各地域の自主防災会において訓練が行われました。災害が発生したときに被害を少なくするためには、落ち着いて適切な行動をとることが大切です。

そのために防災訓練を繰り返し行うことが大切です。

自治会連合会の活動

自治運営都市視察研修の開催

7月15日（火） 宮城県石巻市

7月15日、東日本大震災で深刻な津波被害を受けた姉妹都市である宮城県石巻市にて、自治運営都市視察研修を行いました。

石巻市の社会福祉協議会において、常務理事及び復興支援対策課長に出席いただき、震災時に行政と地域との橋渡し役の体験談を聞きました。特に震災直後の切羽詰った状況での、被災地域とボランティアの間に入り調整をした苦労話に関しては、経験しなければ分からないことであり、大変貴重な話を聞くことができました。

お話を伺った後、語り部バスにより建設中の防潮堤や魚市場、津波避難用に指定された民間のビルなど、主に市内沿岸部を視察しました。復興には相当の期間を要することを、肌で感じることができました。

より早い復興を願っております。

石巻市の被害

- ・震度：6強
- ・津波：約9mの観測（場所によっては最大遡上高30m超過）
- ・被害：平成26年4月現在において、3,523名が亡くなり、438名が行方不明
建物被害は、20,034世帯（総世帯の約1/3）



石巻市社会福祉協議会にて



沿岸部の視察（住宅街であった門脇地区）

自治会連合会ってなあに？

自治会連合会は、各自治会が協力しあうことで、本市の発展に繋がることを目的に運営されています。

自治会連合会は、各自治会の運営を更に充実するために、自治会同士の情報交換や他都道府県の情報を提供する機会を設けています。



1. リーダー研修会



市内や市外の自治会における事例の調査研究、自治会相互の情報交換を拡充することを目的としています。

■過去の講演内容

- ・平成24年度（市内・笹野自治会）
井戸マップの作成
- ・平成25年度（東京都・大山自治会）
団地における高齢者対策

2. 自治運営都市視察研修

自治会運営に関わる先進事例やその地域の特色ある活動について、現地において研修を行います。



■過去の視察先

- ・平成24年度（神奈川県茅ヶ崎市）
防災対策、地域コミュニティ
- ・平成25年度（新潟県新潟市）
地域コミュニティ

今回は

「関係機関との連携」

を掲載します



状況をお知らせします

産業交流フェア

交通安全フェスティバルに参加

11月2日(日) ひたちなか市総合運動公園

11月2日、交通安全フェスティバルが市総合運動公園で開かれ、飯島自治会連合会会長をはじめ役員の方々が多数集い、

「危険予知能力を高めましょう」

「高齢者を交通事故から守りましょう」

「上向きライトで危険を先取りしましょう」と

来場者にチラシを通して命の尊さを訴え、交通安全の啓発を行いました。



会場では、シートベルト効果の体験・視機能診断テスト・反射材の活用・酒酔いゴーグル・正しい自転車の乗り方教室など、交通安全に関するアトラクションがありました。

衝突によるシートベルト効果の体験を試みた役員は、時速6キロ(秒速約1.7メートル)で走る自動車でも、衝突した瞬間、「ううっ」とうなり声を上げるほど下腹部を締め付けられ、大きなショックを受けました。まさに「見て、聴いて、体験してわかる交通安全」でした。

市民活動展に出展

11月2日(日)～3日(月)

ひたちなか市総合体育館

11月2日～3日、市民活動展に自治会加入についてのパネルを展示しました。

また、市民憲章推進協議会の協力のもと、加入促進のパンフレットを配布しました。

多くの来場者に、自治会活動について理解して頂く場となりました。



パネル



パンフレット

地域の運動会(田彦中学区)

10月13日(月) 田彦中学校グラウンド

第20回ひたちなか市民地区秋季大運動会が、田彦中学校グラウンドで開かれ、団体・個人戦合わせて17種目が行われました。

団体戦は、綱引きや総合リレー等、個人戦は100メートル競走等、加えて今回は20回記念種目として、全員参加の〇×方式のウルトラクイズを行いました。盛んな声援が飛び交い、楽しい時間を過ごすことができました。

また、田彦小学校と田彦中学校の協力を得て、小学生はバトンの演技と金管演奏、中学生は吹奏楽演奏が行われ、心地よい音楽で会場を盛り上げてくれました。

優勝チームは田彦東自治会で、昨年に引き続き優勝しました。今回も大きな怪我や事故もなく、地域における交流が深められた意義深い運動会となりました。



自治会トピックス

自治会倶楽部が完成(長松)

一中地区の中心にある長松自治会は、独自の集会所がありませんでした。せめて雨風を防ぐ屋根と壁のある場所が欲しいという願いから出発し、各方面から知恵を拝借した結果、長堀公園内に集会所を建設することになりました。集会所の名所を「長松自治会倶楽部」と命名し、10月26日(日)に市長及び近隣の自治会長のご出席を得て、開所式と自治会祭りを挙行了しました。倶楽部から独自の文化を発信したいと願っております。



みんなで開所を祝いました

稲田夏まつり(稲田)

稲田人(いなだびと)がひとつになる夏まつりが8月23日(土)に行われました。今鹿島神社の祭神「武甕槌命(たけみかづちのみこと)」に祭の安全を祈願し、神輿の渡御(とぎょ)をかわきりに、杉木立に囲まれた鏡内に様々な屋台が出展、大勢の人々にぎわいました。祭舞台では、和太鼓・演奏・マジック・カラオケ・抽選会等で盛り上がりました。祭りに訪れた方はもちろん、地域の方々に支えられ、今年も無事に終えたことに、心より感謝申し上げます。



神輿の様子

市総合防災訓練に参加して(小川)

8月30日(土)の訓練には40名が参加し、避難所開設・発電機始動・フレキシブルタンク給水・簡易トイレ等の各種訓練を行い、防災への意識を高めました。小川自治会は、那珂川沿いに位置しており、集中豪雨が起きると、床上・床下浸水や道路の冠水を幾度となく体験しています。このため、市総合防災訓練を当自治会事業の重要な柱として、毎年「訓練計画書」を全戸配布し、訓練の参加を呼びかけています。



避難訓練の様子

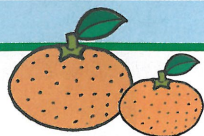
迷子のアヒル(磯崎)

10月6日(月)の台風18号が原因で、磯崎海岸にアヒルが迷い込み、自治会で迷子のアヒルを保護することになりました。初めは衰弱しておりましたが、会員の献身的な看護のおかげで、日を重ねるごとに元気になり、餌をたくさん食べるようになりました。現在は、日立市かみね動物園がアヒルを引き取り、動物園でも元気な様子は変わらないようです。引き取り後の報告を聞き、とても安心しました。



みなさんの優しさで元気になりました

今後の行事



1月11日(日) 出初式

1月29日(木) リーダー研修会
自治研修懇話会

編集後記

今回は、防災訓練や夏祭り、運動会などで協力しあうことで親睦・交流が図られ、地域の絆がより一層深まったことが感じられました。一方で、迷子のアヒルを自治会で飼う話もありました。改めて自治会の必要性和、地域に住む人の温かさを感じることができました。

(連合会広報委員会)